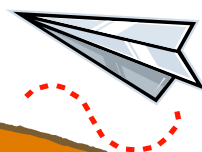




Vol. 12
動物とわたし



紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2022年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ

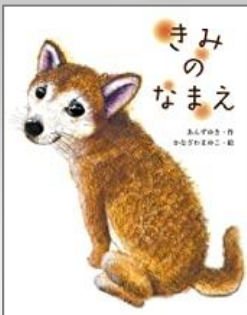


ふしぎないどうどうぶつえん

初級

くさのたき／作 つばいじゅり／絵
金の星社

あした、学校にいどうどうぶつえんがくる。はづきはどうぶつがにがてなので、とてもふあんです。あさ、だれもないはずのきょうしつにいたのは、ヤギやポニーやヒヨコたち。ゆめをみているのかな？ どうぶつたちのきもちをきいて、はづきのところにへんかが・・・。



きみのなまえ

初級

あんずゆき／作 かなざわまゆこ／絵
佼成出版社

林のおくの草むらに、よごれた茶色い犬がいます。きたない、くさいと友だちはわらうけれど、たくとは、わらいません。「この林にいる茶色い犬をかおうと思っています！」たくとは、掲示板にはり紙をしました。掲示板からはじまる、心あたたまるおはなしです。

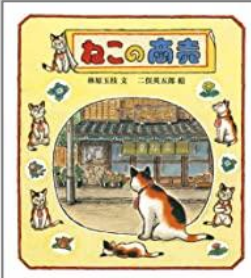


かがやけいのち！ みらいちゃん

初級

今西乃子／作 ひろみちいと／絵
岩崎書店

おおけがをして、すてられていたこいぬ。つれていかれたのは、くらいへや。たくさんのいぬが、かなしいこえでなっています。あしたはいよいよころされる日。その時、まりこさんが、わらって、そっと、こいぬをだきあげました。みらいへ！ かがやけいのち！



ねこの商売

初級

林原玉枝／作 二俣英五郎／絵
福音館書店

幸福堂はおまんじゅうや。さいきん、お客さんがへって、こまっています。「ねこのておかしします」おかしなはり紙をみて、ご主人はさっそく電話をします。やってきた三毛ねこに客ひきをたのみました。いつものような、ゆったりとした午後がはじまるはずが・・・。

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ



介助犬チェリーのパピーウォーカー

中級

山口理／作 岡本順／絵
文研出版

車イスで生活しているおじさんが、介助犬を連れて来た。おじさんの手助けを上手にするのを見て、風太は、介助犬になる子犬を預かるパピーウォーカーになりたいと家族にお願いをした。とちゅうであきらめてばかりの風太に、最後まで責任を持って育てられるのだろうか？



青空モーオー！

中級

堀米薫／作 pon-marsh／絵
学研プラス

陸は、すっきりしないものをむねにかかえて夏休みをむかえる。そんな時、牧場で働くとこに「来ない？」とさそわれた。牧場のくらしは見るものすべてがおもしろい。牛の世界にも、優しい牛やいじわるな牛がいた。大自然での生活は、陸を変えていく。



ぼくの犬スーザン

中級

ニコラ・ディビス／文 千葉茂樹／訳 垂石眞子／絵
あすなろ書房

ジェイクは、いつもとちがうことが大きらい。特にクリスマス時期のまぶしい光やにぎやかな声。そんな時、一匹の犬と出会いスーザンと名付けた。いっしょにいると安心するジェイク。伝えたいことをちゃんと伝えられるようになった。でも、元のかい主が現れて…。



大坂城のシロ

中級

あんずゆき／著 中川学／絵
くもん出版

弱っている犬を見つけたサチは、シロと名付けて世話をした。元気になったシロと楽しく暮らしていたが、村中の犬を集めに役人が来た。大坂城のおとのさまが大切にしている虎のえさにされてしまう。シロも連れていかれて…。大阪市内や大阪北部の能勢町に伝わる話。



アルバートさんと赤ちゃんアザラシ

中級

ジュディス・カー／作・絵 三原泉／訳
徳間書店

アルバートさんは、海で元気のない赤ちゃんアザラシを見つけました。母親アザラシが死んでしまいお乳がもらえないのです。このままでは弱ってしまうと思い、家へ連れて帰りました。でも世話をするのは大変です。引きとってもらえる場所を探しますが・・・。



エルビス、こっちにおいで

中級

ロドリゴ・モルレシン／文 きたむらさとし／絵 宇野和美／訳
さ・え・ら書房

のら犬だったぼく。母さんは人間に連れていかれて、ひとりぼっち。小さいころ母さんによく言われた。「自分の家族をさがすのよ」って・・・。そしてやっとアナに出会えた。エルビスと名付けてもらい、いっしょに楽しく暮らしていたけれど・・・。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



ゾウと旅した戦争の冬

上級

マイケル・モーパーゴ／作 杉田七重／訳
徳間書店

第二次世界大戦末期のドイツでのお話。リジーの母は、動物園で子ゾウのマレーネの世話をしていた。ある晩、町に空襲があり、一家はマレーネを連れて安全な地を目指した。食糧は乏しく、寒さで凍えそうな中、ずっと歩き続ける日々。でもマレーネがみんなを勇気づけてくれた。



サステナブル・ビーチ

上級

小手鞠るい／作 カシワイ／絵
さ・え・ら書房

日本人の父とアメリカ人の母を持つ6年生の男の子七海は、自分の存在にもややもやしていた。夏休みに母とハワイを訪れた。そこには様々な人種の人たちがいて、開放感にあふれていた。二人の芸術家との出会いから、七海は環境問題に興味を持ち、調べてみると・・・。